

# 花のあとさき

## ムツばあさんの歩いた道

語り:長谷川勝彦 監督・撮影:百崎満晴 プロデューサー:伊藤純  
制作著作:NHK 制作:NHKエンタープライズ 配給:NHKエンタープライズ|新日本映画社 宣伝配給協力:ウッキー・プロダクション  
2020年 | 日本 | 112分 | 16:9 | カラー | ドキュメンタリー ©NHK  
[hana-ato.jp](http://hana-ato.jp)

埼玉県秩父市吉田太田部橋尾。  
山あいの段々畑に  
花を植え続けた夫婦と  
小さな村の物語

花を咲かせて  
ふるさとを  
山に還したい

G (英語)

18年にわたりNHKが記録したドキュメンタリー、待望の映画化



涙があふれて、私はゲクゲク泣き続けました。  
丸顔のあどけない顔つきが年と共に美しくいきいきしてきたのは、  
彼女の暮しが、花のいのちと共にあつたからでしょう。

# 瀬戸内寂聴

(作家・僧侶)

花が咲くと  
何にも忘れるがね。

秩父の山深い村に暮らす小林ムツさんは、平成に入った頃から、夫の公一さんとともに、丹精込めた段々畑をひとつまたひとつと閉じそこに花を植えてきました。その数、1万本以上。

ムツさんは言います。

「長い間お世話になった畑が荒れ果てていくのは申し訳ない。せめて花を咲かせて山に還したい…」。

それはまるでふるさとに花を手向け、終わり支度をしているかのようでした。

二人が心がけていたのは、いつか誰も世話ををする人がいなくなても咲く、丈夫な花を育てること。

人も花も、老いて枯れる時が来ても、いのちが次に引き継がれるように…。

暮らす人が年々いなくなる小さな村は、春、色とりどりの花に包まれるようになりました。

福寿草に始まって、レンギョウ、ハナモモ、ヤマツツジ。

潤いの雨を受けてアジサイが咲き、秋は、苗木の時から夫婦で育てたモミジが彩ります。

「いつか人が山に戻ってきたとき、花が咲いていたらどんなにうれしかろう。」

柔らかな笑顔でそう言っていたムツさん。でもやがて、つらい出来事が—。

ムツさんの歩いた道を、美しい山里の四季とともにたどります。



## 花のあとさき ムツばあさんの歩いた道

### 太田部櫛尾とは?

埼玉県秩父山地の北の端。かつては養蚕や炭焼きが盛んで、100人以上が住んでいた。取材を始めた平成13年には、戸数5戸・住人9人・平均年齢73歳となっていました。

※櫛尾の家や敷地は私有地です。現地を訪れる際は十分なご配慮をお願いします。

語り:長谷川勝彦 監督・撮影:百崎満晴 プロデューサー:伊藤純 制作著作:NHK 制作:NHKエンターブラインズ 配給:NHKエンターブラインズ 新日本映画社 宣伝配給協力:ウッキー・プロダクション 文部科学省選定(青年、成人、家庭向き) | 厚生労働省社会保障審議会推薦 | 公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟後援 協力:秩父市吉田総合支所 | 一般社団法人 秩父親光協会吉田支部

2020年 | 日本 | 112分 | 16:9 | カラー | ドキュメンタリー | ©NHK

hana-ato.jp fb.com/hana.atosaki @hana\_atosaki hana\_atosaki

2021年10月7日(木)①10:30 ②14:00 ③19:00  
【全席自由】1,000円 (大阪映画センター会員の方は900円)

※就学前のお子様はご遠慮ください

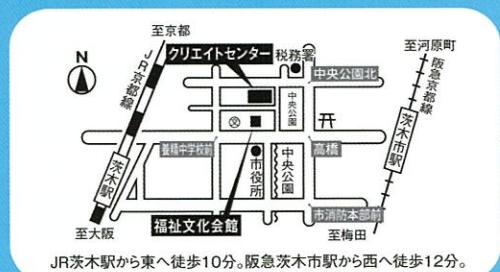
※必ずマスク着用でご来場下さい

※体調不良や発熱がある場合はご来場をお控え下さい

※大阪府が導入する「大阪コロナ追跡システム」への登録をお願いします

※状況により急遽中止とする場合もありますので、前日にお問い合わせ下さい

(上映時間112分)



茨木市駅前四丁目6番16号 / 072-624-1726

◆チケットのお取扱い・お問合せ [2021年8月26日(木)発売]

(公財)茨木市文化振興財団・文化事業係 ☎ 072-625-3055 (9:00~17:00)

○クリエイトセンター1階チケットカウンター (9:00~17:00)

○福祉文化会館3階チケットカウンター (9:00~17:00)

◆主催・お問合せ 株式会社大阪映画センター ☎ 06-6719-2233